



皆さんは、最近バスや鉄道などを利用していますか？

人口減少や新型コロナウイルスによる社会の変化などにより、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。

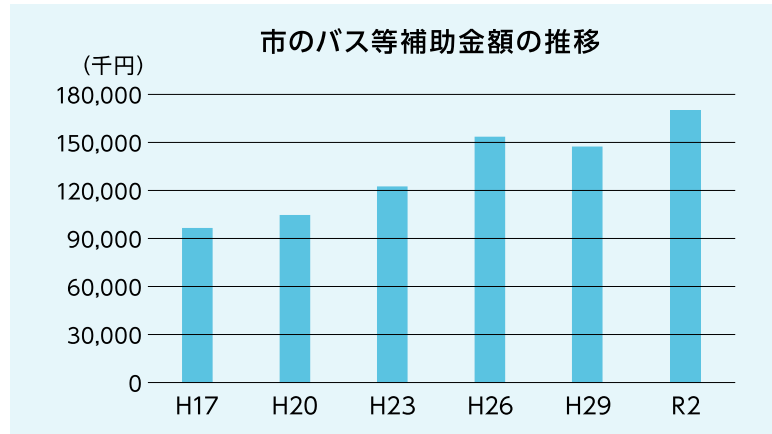
公共交通の現状

糸魚川市には北陸新幹線や大糸線、えちごトキめき鉄道の鉄路に加え、市内を運行する路線バスやコミュニティバス、本市と新潟市を結ぶ高速バスなど、様々な公共交通手段が存在します。しかし、近年の公共交通を取り巻く環境の変化により、利用者は年々減少しています。

財政負担の増加

利用者の減少が続く路線バスや高速バスなどは、国・県、市が補助を行い、運行を維持・継続しています。

そのため、利用者の減少により、市の財政負担は年々拡大しています。



〈路線バス小型車両〉

将来の公共交通のために

公共交通は、高齢者や子どもにとっては生活の足、観光客にとっては移動手段であり、まちに人の流れを生んでくれます。公共交通は多くの課題を抱えながらも「まちを機能させるツール」として絶やすことはできません。

10年先の世代に公共交通を残すために、まずは「年間でプラス1回利用する」ことから始めてみませんか。

地域公共交通網形成計画

市民、交通事業者、市が協力して、地域の実情にあわせた持続可能な地域公共交通を実現することを目的とし、市では平成28年度に「糸魚川市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

公共交通利用の有無に関わらず、市民が積極的に関心を持つことが大切です。

市公式HP



計画はこちらから▶



〈大糸線 花いっぱい事業〉